

(別紙)

令和6年度 第4回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 議事概要

1 開催日時・場所

令和7年3月17日(月) 15:00~17:00

関東森林管理局 東京事務所 会議室

2 議題

(1) 木材の需給動向について

(2) 国有林材の供給調整について

3 検討結果

原木の出材量は順調だが、製材所の原木不足が続いている状況である。原木価格は高止まりしているが、出材の多いスギ柱用材は値下がり傾向となっている。

国産材製品については、若干の値上げ傾向にあるが、原木高、コスト高に追いついていない状況が続いている。

今後については、例年どおり原木価格は下がってくるものと見込まれるが、関税等の輸入製材品への影響の不透明感も強く、情勢を注視する必要がある。

以上のことから、現時点では国有林材の供給調整の追加は不要と判断される。なお、国有林においては、各地域の状況を踏まえた的確な供給に取り組むとともに、7月に実施した立木販売における搬出期間延長に加え更なる供給調整が必要となった場合に備え、地域の実情に即して機動的に対応策が打てるよう引き続き検討をお願いする。

4 主な情報、意見

○ 静岡県では原木が高値で合板工場、バイオマス工場に流れており、製材工場は原木不足の状況。生産量も人手不足が顕著であり増える状況ではない。

○ 茨城県ではスギは値下がり傾向だが、ヒノキは安定している。昨年のことを考えるとヒノキも今後値下がりするのではないかと懸念している。

○ 栃木県では原木丸太の入荷は順調。プレカット工場からは4m材の供給を要望されている。価格はスギ、ヒノキ共に高止まりだが、スギ柱取りは出材が増えたことから値下がりの状況。

○ 製材工場は原木不足により、採算割れの価格で丸太の確保に走っている状況。原木価格はヒノキの3m材が特に上昇している。

○ 合板の製品価格は値上がり傾向だが、原木価格の高騰等から採算が合う価格まで戻るか不透明な状況。原木が、価格差が少なく仕分けが不要なバイオマス工場に流れていく懸念が今後も続くのではないかと懸念している。

○ 栃木県では原木の出材は順調だが、製材工場からの引き合いは強い。生産量は補助金が減少するような話もあり、現状維持がやっとの状況。

○ 群馬県では悪天候の影響や公共事業の受注等の影響で出材は少ない。米中の貿易摩擦で中国向け輸出に影響があるのではないかと懸念している。

- 福島県浜通りの県森連市場での原木販売量は、昨年比 114%となっている。価格は 2 月に入り若干の値下がり傾向となり、無入札物件もでてきている。
- 茨城県では天候がよく、11 月から 3 月頭ぐらいまでは生産量が高い状態で推移した。ヒノキは 3 m と 4 m で値段が変わらず、どちらも引き合いが強い。
- トランプ政権による関税措置やアメリカ西海岸の国有林伐採、EUDR への対応などの影響を注視する必要がある。

(別添)

令和6年度

第4回

関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会

日 時：令和7年3月17日（月）

15：00～17：00（予定）

場 所：関東森林管理局 東京事務所 会議室

次 第

1 開 会

2 議 事

（1）木材の需給動向について

（2）国有林材の供給調整について

（3）その他

3 閉 会

令和6年度 第4回 関東森林管理局国有林材供給調整検討委員会 出席者名簿

日時:3月17日(月)15:00～17:00

場所:関東森林管理局 東京事務所会議室

○委員

(五十音順・敬称略)

所 属 ・ 役 職 名	氏 名	出欠
株式会社フジイチ 代表取締役社長	石野 秀一	出席
茨城県森林組合連合会 代表理事専務	磯邊 晋吾	出席
栃木県 県東環境森林事務所 所長	川上 晴代	出席
協和木材株式会社 代表取締役社長	佐川 広興	欠席
東京合板工業組合 業務統括室長	佐々木 祐子	出席 (web)
栃木県森林組合連合会 代表理事専務	佐橋 正美	出席
群馬県森林組合連合会 木材部 販売課長	田村 進	出席
福島県森林組合連合会 代表理事専務	丹治 俊宏	出席 (web)
株式会社堀江林業 代表取締役	堀江 賢一	出席
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林業経営・政策研究領域 領域長	山本 伸幸	出席

○関東森林管理局

官 職	氏 名	出欠
森林整備部長	増田 義昭	出席
資源活用課長	梶井 昌克	出席
東京事務所 副所長	堀江 則之	出席
企画官(木材需給対策)	飯村 善美	出席
上席技術指導官(木材供給担当)	奥村 忠充	出席
長期安定供給係長	齋藤 博	出席
素材供給係長	齋藤 悠	出席
素材供給係	野宮 陸	出席
供給計画係長	井上 祥吾	出席